

# 葛飾区議会レポート



## 葛飾区議会議員 かわごえ誠一

### かわごえ誠一 プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ●東海大学第二工学部建設工学科卒●立石在住32年●一男二女の父親●保育園/学童保育クラブ父母会、小・中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、三番瀬保全活動などに携わる●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師●本田消防団第四分団員●葛飾区ボッチャ協会会長●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議選で初当選・平成29年二期目当選●議会所属：文教委員会副委員長、地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会

■残暑お見舞い申し上げます■ 新型コロナウイルス感染症による影響が各方面に及び、特に社会的に弱い立場にある方への影響が深刻な状況です。一方、7月には九州地方をはじめとした各地で水害被害が発生しました。毎年のように大きな災害が発生する状況で、葛飾区でも感染症下の災害対策を早急に進める必要があり、避難所の整備も喫緊の課題です。それぞれ直面する課題に対応するために、現場の状況の把握を進め対策に取り組んでまいります。

### かつしか区民連合 新型コロナウイルス対策緊急要望第二弾提出

◆去る4月3日にかつしか区民連合として青木かつのり区長に「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 に対する緊急要望書」を提出しました。その後に出した新たな課題への対応を求めるため、8月5日に要望第二弾として「新型コロナウイルス感染症に対する追加要望書」を提出いたしました。今後の財政難を想定した事業の見直しと共に、現場に即したきめ細やかな支援を求めました。



### 京成本線荒川橋梁周辺で葛飾区合同水防訓練を実施



積み土のう作業をする区職員

◆7月1日に葛飾区合同水防訓練が堀切の荒川河川敷で行われました。京成本線荒川橋梁が架かる堤防部分は他より3.7m程低くなっており、治水上課題となっています。今回は堤防高が低い部分に大型積み土のうを設置する実践的な訓練を行いました。堤防の嵩上げは区として喫緊の課題として取り組んでいますが、今回設置した大型土のうは常設することとされました。

### 新型コロナウイルス関係補正予算議決

◆4月の緊急事態宣言以降、7月までに異例の4回の補正予算が組まれ、新型コロナウイルス対策などが進められてきました。

#### 特別定額給付金一人あたり10万円支給

##### ◆第一次補正予算 473億397万6千円

◎5月1日に第一回臨時議会が開催され、一人あたり10万円を支給する特別定額給付金関連の第一次補正予算を議決しました。

#### プレミアム付き商品券10万セット発行

##### ◆第二次補正予算 31億2915万9千円

◎5月15日に第二回臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染対策経費や消費喚起策としてプレミアム率20%にアップしたのプレミアム付き商品券10万セット発行などを含む第二次補正予算を議決しました。

#### ゴムボート等避難所の備蓄品充実へ

##### ◆第三次補正予算 12億922万3千円

◎6月4日から22日にかけて第二回定例会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策として地域外来・検査センター運営委託経費の他、学校避難所にゴムボートなどの備品配備を進める第三次補正予算を議決しました。

#### 小中学校一人一台タブレットPC配備へ

##### ◆第四次補正予算 14億9198万3千円

◎7月20日に第三回臨時議会が開催され、緊急事態宣言下の長期休校で課題となった小・中学校の児童生徒へのタブレットPC導入やひとり親世帯臨時給付金5万円などを含む第四次補正予算を議決しました。

### 葛飾区の文化芸術振興・アートイベント助成実現

◆昨年10月に柴又地域を中心としたアートイベント「柴又芸術世界2019 Shibamata art world」がアーティストを中心とした実行委員会により開催されました。その他にも区内で開催する芸術活動への支援が求められていましたが、今回第二回定例会において「葛飾区アートイベント助成制度」が実現しました。これにより区内で行われるアートイベントへの支援が一步踏み出すことになりました。街の中で人々がアートと身近にふれ合う機会が増えることを願います。



帝釈天境内でのアートイベント

### 新型コロナウイルス関連窓口等情報

#### ◆事業者支援電話相談窓口を開設

7月31日～9月30日まで(平日) 午前9時～午後5時

◎区内事業者へ経営支援のため、都や国などの新型コロナウイルス対策関連の各種支援制度などの相談を受け付けます。

☎03-3838-5570 (産業経済課)

#### ◆特別定額給付金 (一人あたり10万円給付)

◎申請期限は8月24日です。対象世帯の約96%は申請受け済みですが、未申請の方、不明点などは下記までお問い合わせ下さい。

☎03-5654-7131 (特別定額給付金コールセンター)

葛飾区の新型コロナウイルス関係情報は区ホームページをご覧ください。

→ [新型コロナウイルス関連情報](#)

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>

## 問合せ 連絡先

### かつしか区民連合

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内

電話 03-3695-1111 (代)

FAX 03-3697-0137

### かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail info@kawagoeseiichi.com

## 葛飾区議会レポート

## 令和二年区議会第一回定例会 予算審査特別委員会 総括質疑報告

◆去る3月3日の葛飾区議会第一回定例会予算審査特別委員会において、令和2年度当初予算について総括質疑をしました。新型コロナウイルス対策の他、区の契約のあり方、空き家、ひきこもりなどについて質問をしました。今号ではその概要をご報告をします。

## ▶ 新型コロナウイルスへの迅速な対応を！

## 1) COVID-19 新型コロナウイルス対策について

◆新型コロナウイルス感染症での、学校や保育園の課題、区の体制などについて伺いました。経済面では区独自の融資が実現しました。

**質問：かわごえ** 新型コロナウイルス感染症による景気への影響が心配され、税収の落ち込みも懸念されている。今後の区の財政フレームへの影響について見解を伺う。

**答弁：政策経営部長** 感染拡大防止を目的としたイベント、外出の自粛、外国旅行者の入国規制などは区を含めた国内全体の消費を下押しすることにつながり、経済的に厳しい状況となり、税収減も想定される。今後の景気動向・税収動向などを注視していく。

**質問：かわごえ** 今後、不況対策、感染予防など財政的な対応を考えなければならない可能性がある。区として不測の事態に備え、迅速な対応をする必要があると考えるがどうか。

**答弁：政策経営部長** 国や東京都の動向を注視するとともに、区内の状況を的確に把握し、相談体制の強化、中小企業への支援、医薬品・マスク・アルコール消毒液・防護服などの感染拡大予防用品など、必要となる対応策を検討する。

## ▶ 区が発注する契約の質の保障を！

## 2) 公契約条例について

◆公共工事の品質確保や労働環境の保障のため公契約条例を導入する自治体が増えています。葛飾区の今後の方向性を伺いました。

**質問：かわごえ** 公契約条例の意義をどのように考えるか。

**答弁：総務部長** 公共工事需要の増大の中、各計画を着実に推進するために、公共工事の品質確保と受注業者の労働環境の向上は重要な課題である。これまで以上に確実な契約締結を実現して、区民サービス向上のために、契約内容履行につなげるためには本条例の制定は必要であり、意義のあるものである。

**質問：かわごえ** 公契約条例導入に向けての想定を伺う。

**答弁：総務部長** 令和2年度中に内容を固め、令和3年度中に施行したい。この条例を進めていく上では、区議会や関係団体の理解・協力を得ながら策定に向け検討する。

## ▶ 地域活性化のために空き家の活用を！

## 3) 地域活性化・人口政策としての空き家活用について

◆放置された特定空家への対応のみでなく、空き家を地域の資源として活用している事例を元に区の空き家活用について伺いました。

**質問：かわごえ** 高齢化が進む中で空き家が増え、放置しておくとし持続可能なまちづくりには大きな障害になると危惧する。持続可能なまちづくりにおいて空き家の問題について区の認識を伺う。

**答弁：政策経営部長** 空き家の増加、居住家屋の減少で都市がスポンジ化していくことは、防災・防犯、地域の生活環境の悪化につながるだけでなく、行政サービス、インフラ整備の非効率化、商業・福祉等のサービスの縮小・撤退による利便性の低下、地域コミュニティの衰退なども危惧され、都市の空洞化につながり、持続可能なまちづくりに障害になると危惧している。空き家問題は区の重要な課題と捉え、課題解決に向けて取り組んでいく。

**質問：かわごえ** 空き家のマッチングで若者が移り住み、地域が活性化している地域もある。住居のみでなく、若者やアーティスト・NPOなどの活動拠点や、町会会館がない自治町会では、地域の居場所として空き家を活用の要望もある。このようなマッチングをするためには、行政の支援の仕組みが必要だ。

**答弁：政策経営部長** 空き家のマッチングについて地域の魅力の創

出、地域の活性化、新住民の移住などを目指して、他自治体の事例も踏まえて検討したい。

**質問：かわごえ** 空き家を活用し持続可能なまちづくりを進めるため、ハード面だけでなく、人口導入や地域振興も含め、全庁的な空き家利活用の組織づくり、体制整備をすべきだ。

**答弁：政策経営部長** 現在、空き家に対して、都市整備部に相談窓口を設け対応している。空き家の活用次第では、シティセールス、地域の活性化、地域の魅力の創出、新住民の移住などにもつながる可能性があり、ソフト面も含め今後の推進体制について検討する。

## ▶ ひきこもり支援へ全庁的な体制整備を！

## 4) 地域福祉計画とひきこもりへの支援について

◆8050問題と言われるひきこもりの高齢化が表面化しています。部署を超えた息の長い支援をするための体制整備を求めました。

**質問：かわごえ** 区としてのひきこもりの高齢化と家庭の孤立化などの認識について伺う。

**答弁：福祉部長** ひきこもりは身近で起こる問題だ。ひきこもりの長期化は、地域との関係が希薄など、周囲に頼る人がいない傾向にあると言われている。それぞれの世帯の状況に応じて寄り添い、継続的な支援が必要な地域課題の一つである。

**質問：かわごえ** 区として、ひきこもりの支援をしている団体との連携について、どのように考えているか。

**答弁：福祉部長** これまで以上に区と地域団体との連携促進や、協力関係の強化を図る必要がある。中高年のひきこもりについても、地域団体との連携が必要であると認識している。

**質問：かわごえ** ひきこもり支援は、一つの部署だけでは対応できる課題ではない。全庁的な体制整備が求められるがいかかか。

**答弁：福祉部長** ひきこもりへの支援体制は横断的な対応が必要だ。高齢者支援や、精神保健、生活困窮・生活保護、障害部門の関わりも必要になる。長期にわたって、それぞれの機関が連携して支援する必要があり、包括的な支援体制の検討が課題だ。

**質問：かわごえ** 今後、計画的にひきこもり支援を進めていくための具体的な考えを伺いたい。

**答弁：福祉部長** 地域福祉計画において、ひきこもりをはじめ、様々な複合的な課題を抱える方たちへの地域支援を含めた対応を進めていく。これらの地域福祉社会の実現に向けた取組は、次期基本計画や、実施計画の政策等に位置づけ、支援体制の構築や、地域主体の福祉活動の推進などを進めたい。

## ▶ 区として障害者雇用を拡げる努力を！

## 5) 障害者雇用について

◆区役所での障害者雇用を拡げるための方向性を伺いました。

**質問：かわごえ** 令和3年度以降に法定雇用率が0.1%上がる。今後の障害者雇用の方向性について、技能系も含めて、障害者が活躍できる場所・職場・職種を広げる努力をすべきではないか。

**答弁：総務部長** 精神障害者の定着率の課題があるが、就労支援専門員のサポートを受けて、本人の適性に応じた業務に従事することが、継続して勤務することにつながる。今後も個々の適正を生かし、安心して継続的に業務に従事できるように活用場の拡大を検討する。



区民連 かわごえ誠一  
総括質疑に登壇するかわごえ誠一